

教養科目

授業科目名	右上表示
政治学	教養-A1
日本国憲法（テキスト）	教養-A2(1)
日本国憲法（夏期スクーリング）	教養-A2(2)
ジェンダー論	教養-A3
社会福祉学	教養-A4
心理学	教養-B1
数学	教養-B2
統計学	教養-B3
生命の科学	教養-B4
化学の世界	教養-B5
人間生理学	教養-B6
哲学	教養-C1
歴史学	教養-C2
宗教とは何か	教養-C3
文学	教養-C4
言語と情報	教養-C5
音楽の歴史	教養-C6

政治学 (テキスト)

担当教員： 東郷 育子

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目/2024年度

概要

世界は刻々と変化し、動いています。政治学は歴史も含む様々な事象をどのように理解すればよいのかを教えてくれる学問です。本科目では政治学の基礎的知識から専門的知識に至るまで楽しくかつ気軽に学べるように構成されています。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

政治学及び国際政治の基礎知識を身につけ、政治の事象を理解できるようになること。政策はどうやってできるのか、現実の政治にどのように展開されているのか、問題意識や解決の道筋を考えることができるようになること。

学習の進め方

テキストを読みながら、常に現実の、また身近な問題から紐解いてみましょう。わからない言葉がある場合、読み飛ばしたり、そのまま放置することなく、事典や辞書、インターネット情報などを丹念に調べる。新聞を毎日読んでみる習慣をつけましょう。

内容

1. 政治学をどう理解し取り組んでいくか
2. 政治学の基礎的な概念や知識を学ぶ
3. 政治体制、政治変動、民主化を学ぶ
4. 政治と経済の関係を学ぶ
5. 福祉国家とは何かを学ぶ
6. 自由民主主義体制とは何か
7. 公共政策の立案・決定・実行
8. 政党と政党政治を学ぶ
9. 政治意識と政治文化とは何か
10. 国家の再編・分権化・統合の行方
11. 国際政治の基礎知識を学ぶ
12. 人間的悲惨、戦争と平和を考える
13. 国境を越える地球的問題群とは
14. 伝統的な政治学から実証的な政治学へ
15. 揺れる政治・国際情勢を学ぶ

テキスト・参考書

①テキスト 現代政治学(第4版) 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦 有斐閣アルマ 2012、学習の手引

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 比較的読みやすい内容の入門書2冊紹介します。

- ① 教養としての政治学入門 成蹊大学法学部編著
- ② 政治学の第一歩 砂原他著 有斐閣ストゥディア

成績評価

①レポート

問題設定がちゃんとできているか、タイトルと何を書きたいのか内容に整合性があることに留意してください。多くを語る必要はありませんが、ダラダラ書くのではなく、要点を絞り、読みやすくするように心掛けてください。論理性で30点、構成で30点、理解度で30点、出来映え10点の配点となります。

②科目修了試験

範囲指定した章の内容から、5つの設問を提示します。そのうち1問を選択して答えるテストです。選択した問いの出題意図を理解しているのか、問われた内容を的確に答えているかどうか、解答の内容に努力しているか、などから総合的に評価します。

その他

新聞、テレビ、インターネット上のニュースをつねにチェックしてください。

日本国憲法 (テキスト)

担当教員： 田中 洋

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目/2024年度

概要

日本国憲法を読むと、お世辞にも美しい日本語とは言い難い。それゆえ法学を初めて学ぶ者にとっては、まるでラビリンス（迷宮）のように感じられるのも仕方がないことであろう。

しかし法学は、実は論理的思考と厳格な用語法を持つ合理的な世界でもある。憲法の学習も、条文、最も一般的・基本的な考え方（通説）、具体的な事件に裁判所がどのような判断を下しているのか（判例）、という3つを中心に考えることになる。本科目でも、この点を中心に、人権、平和、国家の仕組みなどについて学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ・憲法とは何か、人権の意義、立憲主義など、基本的な事柄を本質的に理解する。
- ・日常生活の中で生じる様々な問題を、憲法的視点から考えることができる。

学習の進め方

テキストを第1編を中心に一読した後、レポート課題を確認し、関係箇所を見極めながらテキストを熟読する。レポート作成にあたっては、課題1はテキストとともに参考書にもあたりながら、課題2はテキストを精読し、適宜学習を深める。

内容

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. イントロダクション…序論、序章 | 9. 社会権、参政権、請求権 |
| 2. 人権の享有主体 | 10. 国民権、国会 |
| 3. 憲法の私人間効力、公共の福祉 | 11. 内閣 |
| 4. 包括的基本権 | 12. 裁判所 |
| 5. 精神的自由①思想・良心の自由、表現の自由 | 13. 地方自治、平和主義、憲法改正 |
| 6. 精神的自由②信教の自由、学問の自由 | 14. 科目修了試験へ向けた準備① |
| 7. 経済的自由 | 15. 科目修了試験に向けた準備② |
| 8. 人身の自由 | |

テキスト・参考書

①テキスト 教職教養 日本国憲法 補訂第2版 坂田仰・田中洋 八千代出版 2011、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書
- ①憲法 第8版 芦部信喜、高橋和之補訂 岩波書店 2023
 - ②憲法判例百選Ⅰ 第7版 長谷部恭男他編 有斐閣 2019
 - ③憲法判例百選Ⅱ 第7版 長谷部恭男他編 有斐閣 2019
 - ④学校・法・社会 坂田仰 学事出版 2002

成績評価

- ①レポート 課題について理解しているか、レポートとしての完成度を含めて総合的に評価する。
- ②科目修了試験 第1問、第2問とも50点とし、合計点で評価する。

その他

日常の中にある憲法に関する問題について敏感になるために、テレビや新聞などのニュースに親しむようにしましょう。また、公務員試験、行政書士試験等、法学系資格試験の受験を考えている学生の受講も歓迎します。

日本国憲法（夏期スクーリング）

担当教員： 高橋 和則

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目/2024年度

概要

憲法および日本国憲法に関する基本的な知識と理解の獲得を目的とした講義です。これらについて知識のない方が受講されることを前提としています。しかし、一定の知識のある方の受講も歓迎します。今季は特別の事情により遠隔授業によって実施します。具体的には音声付のスライドを視聴してもらうやり方です。

授業の方法

【動画視聴型（manaba 利用）】

動画視聴型遠隔授業（manaba 利用）を行います。manaba にある URL をクリックしてスライドを見ながら音声を視聴してもらう形式です。途中で止めることも、もう一度聞き返すことも可能です。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ①憲法と立憲主義がいかなるものかを理解する。
- ②日本国憲法の特徴を理解する。
- ③教職などの資格試験に必要な日本国憲法の知識を身につける。

授業計画

(カッコ内はテキストのページ数)

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. イントロダクション 講義の方針と法律の概要 | 8. 日本の憲法2 日本国憲法と国民主権(134-7) |
| 2. 憲法が現れる時 尊属殺重罰規定事件を例として(51-2) | 9. 人権の享有主体性 外国人・法人・公務員その他(24-34) |
| 3. 憲法の成立 憲法史的検討 | 10. 憲法の私人間効力・法律の留保と公共の福祉(34-42) |
| 4. 現代の事例から 公権力と憲法(131-2) | 11. 包括的基本権(43-60) |
| 5. 憲法の最高法規性1 憲法改正と平和主義(179-183) | 12. 思想・良心の自由(61-4) |
| 6. 憲法の最高法規性2 違憲審査制(168-171) 平等原則 | 13. 信教の自由(77-89) |
| 7. 日本の憲法1 大日本帝国憲法と天皇主権(15-8) | 14. 表現の自由(64-76) |
| | 15. 学問の自由、教育を受ける権利(86-9、118-124) |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

講義で触れるテキストの部分に目を通してみる（わからなくてよい）。[授業計画] のページ数を目安にせよ。復習の仕方は初回講義時に指示する。予復習合わせて最低1時間。

- ②使用教科書 ①教職教養 日本国憲法 補訂第2版 坂田仰・田中洋 八千代出版 2011
②プリント manaba 上にアップロードいたします。
③各種法律の条文（初回に指示します） 六法があるとよいが（近隣）図書館でのコピー、ネット利用も可

- ③参考書 ①憲法 芦部信喜 岩波書店
②法律学小事典 有斐閣（近隣などの図書館を利用してください）

④準備するもの [使用教科書]のみ。

⑤成績評価 manaba 上で行う複数回の小テストにより成績を評価します。単位取得希望者は必ず全てを受験してください。

⑥学生へのメッセージ 憲法や日本国憲法に関する事前の知識は必要としない（[概要]参照）。

ジェンダー論(夏期スクーリング)

担当教員： 横山 道史

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目/2024年度

概要

男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法をはじめとして、社会制度がジェンダー平等を求めて変革しつつありますが、世界経済フォーラムが2023年に発表した「ジェンダーギャップ・レポート」によると、日本は調査対象146カ国中125位です。では、日本のこのジェンダーギャップを作り出し維持している要因は何でしょうか。本講義は、私たちの社会を規定しているジェンダー秩序や構造はもとより、私たち自身のジェンダーへの囚われにも目を向け、その要因を解き明かしていくことを目的としています。

授業の方法

【同時双方向型 (manaba、Zoom利用)】

同時双方向型遠隔授業 (manaba、Zoom等利用) を実施します。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

1. 社会に溢れる性現象について理解し、その機序を説明することができる。
2. 男女の関係の新しいあり方を具体的に構想する能力を養うことができる。
3. 日常生活に埋め込まれた無意識の偏見・差別について理解し、偏見・差別に敏感な視点を習得することができる。

授業計画

【遠隔授業】(同時双方向型) 全日程においてZoomを用いた同時双方向型の遠隔授業を実施します。

1. 女性学・男性学とジェンダー研究 (イントロダクションを含む)
2. 性現象を捉える三つの視座としてのジェンダー/セックス/セクシュアリティ
3. 性別はなぜ/どのようにして「女」と「男」の二つに分類されるのか?
4. 性差とは「何」か、あるいは「いかにして」形成されるのか
5. 性役割とは「何」か、それは性差とどう関係するのか?
6. 「男はソト、女はウチ」という性別役割分業はいつ、いかにして成立したのか?
7. 新しいジェンダー・モデル? —「サラリーマン」と「専業主婦」から「イクメン」と「輝く女性」へ
8. 日本のネオリベラル・ジェンダー秩序とは? —「男男格差」と「女女格差」
9. ジェンダーの平等に対するバックラッシュ
10. 外見に基づく偏見や差別とは何か、それはジェンダーとどう関係するのか?
11. ジェンダー・アイデンティティとトランスジェンダー
12. セクシュアリティとジェンダー
13. 男同士の絆と連帯の条件
14. 「男らしさ」と企業社会
15. 講義全体のまとめとフォローアップ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業開始までに10時間程度。関連する書籍であれば何でもよいので、最低1冊は精読しておくことが望ましい。

②使用教科書

適宜、プリント等を配付する。

③参考書

図解雑学 ジェンダー 加藤秀一・石田仁・海老原暁子 ナツメ社 2005

ジェンダー論をつかむ 千田有紀・中西祐子・青山薫 有斐閣 2013

これからの時代を生き抜くためのジェンダー&セクシュアリティ論入門 三橋順子 辰巳出版 2023

④持参するもの 特になし

⑤成績評価

レポート80%、授業参加20%で評価します。毎回、授業の終了後に感想カードの提出を求めます。それをもって授業参加とみなします。レポートおよび感想カードの提出は、manabaの機能を使って行います。詳しくは、第1回目のガイダンス時に説明します。

⑥学生へのメッセージ

特になし。

社会福祉学（夏期スクーリング）

担当教員： 柴崎 祐美

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目/2024年度

概要

人口減少社会である今日のわが国にとって、社会福祉の役割、機能はますます重要になっている。本講義では、社会福祉の原理・思想、歴史、構造、分野、人材、方法など、社会福祉に関する基礎を多角的に学ぶ。福祉のサービスを利用する人々の生活実態をふまえながら、すべての人々が安定した生活を送ることができるための社会福祉のあり方、方法について受講者とともに考える。
(「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目)

授業の方法

【同時双方向型 (manaba, Zoom 利用)】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ・現代社会における社会福祉の意義や役割を理解する。
- ・社会福祉に関連する法制度を理解する。
- ・現実の生活を客観的に把握し、自ら問題を発見し、様々な人と協働して解決していくことができる。

授業計画

- 1 講義スケジュール、進め方の説明、現代社会の特質と生活不安
- 2 生活と社会福祉
- 3 身近な生活にみる福祉 〈ここまで第1日 Zoom のち manaba〉
- 4 日本の社会福祉の歴史
- 5 社会保障・社会福祉・保健医療の動向
- 6 社会福祉の制度と法体系 〈ここまで第2日 Zoom のち manaba〉
- 7 生活保護、生活困窮者支援
- 8 障害者福祉 (理念、障害福祉サービス)
- 9 子ども家庭福祉 (児童福祉、社会的養護) 〈ここまで第3日 Zoom のち manaba〉
- 10 高齢者福祉 (雇用、いきがい、居住)、介護保険制度
- 11 ジェンダーと社会福祉 〈ここまで第4日 Zoom のち manaba〉
- 12 社会福祉実践と関連領域との連携
- 13 サービス利用支援、権利擁護 〈ここまで第5日 Zoom のち manaba〉
- 14 社会福祉の国際動向
- 15 地域共生社会の実現に向けて、まとめ 〈ここまで第6日 Zoom のち manaba〉

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

社会福祉に関する社会事象、報道に関心を持ち、新聞記事や雑誌記事、文献を読んでおくこと (5時間程度)。

事前課題

社会福祉に関する新聞記事の一つを選び、A4 1枚に①記事の要約、②記事を読んで感じたこと・考えたことをまとめ、講義第1日目の前日まで提出すること。具体的な提出方法は講義開始1週間前を目途にmanabaから連絡します。

② 使用教科書 なし プリント配付

③ 参考書 なし 授業中適宜紹介

④ 持参するもの なし

⑤ 成績評価 授業への参加態度20%、リアクションペーパー40%、まとめテスト40%により総合的に評価する。

⑥ 学生へのメッセージ 予め生活問題 (福祉問題) に関心をもっていると、授業が理解しやすくなります。

心理学 (集中スクーリング)

担当教員：中村 眞理

1年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2024年度

概要

心理学とは、人間のこころ・精神、考えや感じ方、そして行動する力とメカニズムを解明する学問である。幅広い心理学の領域において、これまでの科学的手法をもって得られた研究成果を体系的に整理し、どのように研究が進められてきたのかを紹介する。さらに、それらが日常生活の場面でどのように応用されているのかについても解説する。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業 (manaba, Zoom 利用)】

同時双方向型遠隔授業 (manaba, Zoom 等利用) とする。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

1. 心理学の成り立ち、歴史について理解する。
2. 人の心の基本的な仕組み及び働きについて理解する。
3. 心理学の知見がどのように日常生活に応用されているのかを理解し、新たな視点で捉えてみることができる。

授業計画

1. イントロダクション
2. 心理学の歴史：心理学とはどういう学問か
3. 学習心理学：行動の獲得
4. 生理心理学：こころと脳・感情
5. 神経心理学：高次機能障害・認知症
6. 知覚心理学：視覚・聴覚・触覚
7. 認知心理学：注意、記憶、言語
8. 社会心理学：対人関係、自己と他者、
9. パーソナリティ心理学：個人差の分類と形成
10. 発達心理学：子ども時代の発達
11. 発達心理学：青年期・成人期の発達
12. 臨床心理学：子どもへの支援
13. 臨床心理学：ストレスと心理的障害
14. 臨床心理学：カウンセリング、心理療法
15. まとめ

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業内容の理解促進のため、教科書を一度読んでおくことが望ましい。時間数は特に定めない。

② 使用教科書

板口典弘・相馬花恵 「ステップアップ心理学シリーズ 心理学入門」 講談社 2018年

③ 参考書 スクーリング時に適宜紹介する。

④ 持参 (準備) するもの 筆記用具・ノート (ルーズリーフなどでも可)

⑤ 成績評価 授業への参加態度・小レポート(30%)、およびスクーリング最終日の試験(70%)により評価する。

⑥ 学生へのメッセージ

心理学は、心理学の知識だけを有していても活かすことができません。

講義の内容を理解するとともに、社会で起きていることや、自分の周りのあらゆることに興味・関心を持ち続けてください。

数学 (テキスト)

担当教員： 夏井 利恵

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目/2024年度

概要

[第1部 線形代数]

線形代数は多変数を扱う際の基本的な道具であり、現代数学の基礎の重要な一部をなしている。線形代数の基礎を学ぶことにより、数学のより深遠な広がりに触れることと、自然科学のみならず社会科学で実際に使うことができる力を身につけることを目的とする。

[第2部 微分積分]

微分積分は数学の中でも長い歴史をもつ、多くの自然科学の分野で必須の道具として使われてきた分野である。微分積分の基礎を学ぶことにより、科学的な考え方や定量的な議論の方法を身に付けることを目的とする。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

「基礎数学」の中から、[第1部 線形代数] または [第2部 微分積分] のどちらか一つを選んで学習する。(いずれも6割の正解を合格基準とする。)

線形代数、或いは、微分積分学の基礎を学ぶことにより、数学的・科学的な考え方や方法論を身につけることを目標とする。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める。

レポート課題を確認し、改めてテキストに基づき学習する。

科目修了試験に向けて学習する。

内容

[第1部 線形代数] 選択者

- ベクトルの演算
- ベクトルの成分表示
- ベクトルの内積
- 行列の定義と演算
- 正方行列と逆行列
- 連立1次方程式と行列
- 行基本変形
- 行列の階数
- 連立1次方程式の解
- 掃き出し法
- 行列式の定義
- 行列式の性質
- クラメールの公式
- ベクトル空間と1次変換
- 固有値と固有ベクトル

[第2部 微分積分] 選択者

- 直線と2次曲線
- 三角関数
- 指数関数
- 対数関数
- 平面
- 導関数
- 初等関数の導関数
- 平均値の定理とマクローリン展開
- 関数の増減とグラフの凸凹
- 偏微分と極値
- 不定積分
- 置換積分
- 部分積分
- 定積分
- 面積

テキスト・参考書

①テキスト やさしく学べる基礎数学—線形代数・微分積分— 共立出版 石村園子、学習の手引

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

- ②参考書 高校の数学の教科書 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ
微分積分学 矢野健太郎・石原繁 裳華房

成績評価

- ①レポート 課題の理解50%、学生自身の学習成果50%として評価する。
②科目修了試験 課題A、Bのどちらか片方を選択して解答してもらい、100点満点で評価する。

統計学 (夏期スクーリング)

担当教員： 今野 良彦

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2024年度

概要

統計学とは、社会あるいは自然現象に関するデータを収集し、その現象の特質をデータに基づいて記述・推測する手法と理論の体系である。文系理系を問わず広い分野と関連をもつ。英国の数学者 R. A. フィッシャーらにより創設されて以来、統計学はデータを扱う全ての学問に顔を出す広大な学問にまで発展した。例えば、医学、教育学、心理学、公衆衛生学、経済学、マーケティングなどの分野のデータ解析に用いられている。本講義では、初等的な確率の考え方、記述統計、推測統計の基礎的な事柄について学ぶ。さらに、高度な数学を用いずに仮説検定と信頼区間を理解することである。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

到達目標1：データの整理ができ、データの特徴を説明できる。

到達目標2：確率と確率分布についての基本的な事項を説明できる。

到達目標3：統計推測の基本的な考え方を理解し、簡単な数値例に対して推定と検定を行うことができる。

授業計画

1. 準備、データの種類、度数分布表、ヒストグラム
2. 標本平均、中央値、標本分散、不偏分散、標準偏差
3. 四分位数、四分位範囲、はずれ値、箱ひげ図
4. 2次元のデータの整理
5. クロス集計表、連関係数、回帰直線
6. 離散型確率分布、2項分布、連続型確率分布
7. 正規分布、基準化
8. 中心極限定理、母集団
9. 10回～8回までの復習
10. 点推定、正規分布の母平均・母分散の点推定、2項分布の比率の点推定
11. 区間推定、正規分布の母平均・母分散の区間推定、2項分布の比率の区間推定、標本数の決め方
12. 検定、帰無仮説、対立仮説、棄却域、有意水準、第1種の過誤、第2種の過誤、正規分布の母平均の検定(1標本、母分散既知、未知の場合)
13. 正規分布の母分散の検定(1標本、母平均未知の場合)、正規分布の母平均の差の検定(2標本で対応のない場合)
14. いろいろな検定
15. 11回～14回のまとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

各回のスライドと解説は事前に manaba に掲載します。各回のスライドとそれに対応するテキストの部分を熟読し、各回の解説を視聴しながら、各回の内容の理解を深めること。これらの学修時間に 60 時間以上を要します。

②使用教科書

統計学基礎/栗木進二、綿森葉子、田中秀和 (共立出版)

1,900円 + 税

③参考書

教科書以外ではとくになし。

④持参するもの

関数電卓があると便利である。

⑤成績評価

レポート (60%) と最終試験 (40%)。

⑥学生へのメッセージ

質問など気軽にお尋ねください。

生命の科学 (テキスト)

担当教員：菅野 靖史 上田 実希

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2024年度

概要

生物学は生物と生命現象に関する学問である。生物は構造を持ち、物質を代謝している。また、代謝を調節するしくみや環境の変化に応答するしくみを持っている。さらに、子孫を残し、親の形質を引き継ぐしくみも発達させている。生物は、生命の誕生以来、環境の変化に伴って自らを変化させて、多様性を生み出してきた。

この科目では、生物が示す上記のような生命現象を学ぶことによって、「生命の不思議」を探究して欲しい。最近では生物学にかかわるニュースが、新聞やTV、さらにSNSなどの話題にあがることが多い。日頃からさまざまなニュースにも積極的に接し、レポートに活かしていただきたい。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ①生物、生命現象を教科書および様々なニュースなどから学び、「生命の不思議」を探究する姿勢を身につける。
- ②レポートでは、教科書に書かれた内容に限らず、広く自身の集めた情報を活かすことができる。
- ③試験では、設問に対して、150～300字程度で概要を記述できる。
- ④学び全体を通して、日常生活において生命に関わる問題を論理的に考察し、的確な答えを見つけることができる。

学習の進め方

生物の進化、細胞分裂や生殖の仕組み、遺伝の仕組みとその因子、生物の分類などを中心に、指定のテキストを用いて網羅的に学習する。科目修了試験に向けては、テキストを深く理解することが必要である。

内容

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 生物と生物科学 | 9. 酵素の働き |
| 2. 生物の歴史 | 10. 生殖の種類と意義 |
| 3. 生物の分類 | 11. 減数分裂 |
| 4. 原核生物と真核生物 | 12. 遺伝の法則 |
| 5. 細胞の構造 | 13. 人類の起源と進化 |
| 6. 動物と植物 | 14. ヒトの遺伝 |
| 7. 好気呼吸と嫌気呼吸 | 15. 生物と文明 |
| 8. 遺伝子の発現とタンパク質 | |

テキスト・参考書

①テキスト 生物科学入門 (三訂版) 石川統 裳華房 2003、学習の手引

②参考書 『レポート課題集』・「学習の手引」参照のこと。

成績評価

- ①レポート 課題の理解30%、独自の視点や解釈30点、論理的な記述30%、レポートとしての完成度10%として、評価する。
- ②科目修了試験 基本的に4問程度出題し、2問程度を選択して解答する。その際、知識40%、理解30%、論理性30%として、評価する。

その他

テキスト、参考文献、Web ページの資料などをつなぎあわせるのではなく、それを起点に独自の視点から興味と理解を広げ、個性あるレポート、解答を作成するよう期待する。

化学の世界 (テキスト)

担当教員： 市川 さおり・佐藤 香枝
澁谷 正俊

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2024年度

概要

私たちは無数の化学物質にかこまれて暮らしている。化学物質は、私たちの生活に豊かさと便利さを与える一方、様々な環境汚染の原因にもなっている。このような化学物質の二面性を理解し、それらを上手に使うことによって、受講者が安全で快適な暮らしを営むことが、この授業科目の目的である。そのために、まず化学の基礎知識をわかりやすく説明した後、生命現象にかかわる化学物質、暮らしにかかわる化学物質、環境汚染をひきおこす化学物質について詳しく解説する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

「化学」が日常生活にいかにかかわっているか理解し、化学を通してのものの見方が生活の上で役立っていることを説明できる。

学習の進め方

1. テキスト『化学の世界 1』は8章からなる。全体を通読した後、特に自分が関心のある章から詳しく読み直し、高校時代にあまり化学を学ばなかった者も「化学の世界」の大筋を理解する。
2. リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習したうえで、リポートの下書きを作成し、テキスト・参考文献との整合性等を確認し、さらに論理的な文章になっているかどうか検討した後、清書して提出する。
3. リポート合格の場合は科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する。リポート不合格の場合は改めてテキストを学習し、参考文献に当たった上でリポートを作成し、再度提出する。
4. 科目修了試験に向けて学習する際はテキストとリポート課題の復習を中心に学習すると良い。

内容

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1. 化学への誘い ～物質とは～ | 8. 生活と化学(1) 食べものの化学、住まいと化学 |
| 2. 基礎となる化学(1) 原子の構造 | 9. 生活と化学(2) 化学物質の安全性と問題点 |
| 3. 基礎となる化学(2) 化学結合と分子 | 10. 生命と物質(1) 酵素とタンパク質、DNAとRNA |
| 4. 身近な有機化合物(1) 脂肪族炭化水素、アルコールとエーテル | 11. 生命と物質(2) 生命工学 |
| 5. 身近な有機化合物(2) アルデヒドとケトン、カルボン酸とその誘導体、芳香族化合物 | 12. 地球環境の化学(1) 地球環境 |
| 6. 身のまわりの高分子化合物(1) 天然高分子 | 13. 地球環境の化学(2) 環境問題 |
| 7. 身のまわりの高分子化合物(2) 合成高分子 | 14. 化学とコンピュータ(1) 化学の貢献 |
| | 15. 化学とコンピュータ(2) コンピュータの貢献 |

テキスト・参考書

①テキスト 化学の世界 1 土屋・小尾・岡崎・浅岡・高橋・松影・蟻川・高橋著 日本女子大学

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 化学—基本の考え方 13章 中田宗隆 東京化学同人

成績評価

①リポート 全体を100%としてテキストの内容の理解50%および内容をまとめる力50%で評価する。

②科目修了試験 第1問33点、第2問33点、第3問34点と配分し、合計点で評価する。各問、テキストの内容の理解および内容をまとめる力で評価する。

人間生理学 (テキスト)

担当教員： 内田 さえ

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2024年度

概要

生理学は生体の機能について学習する学問である。古典的な生理学は医学そのものであり、のちに生化学、薬理学、分子生物学などが分科してきた。したがって、現在では生理学が扱う領域は膨大となっているが人間として快適に生きていくために必須の知識が盛り込まれている。人間生理学では日常的に遭遇する場面で我々が外界からの刺激・環境変化にどのように処理・対処しているかを論理的に学んでいく。医療系研究職としての経験をレポート添削などにも活かせるのではないかと考える。

(「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目)

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ①正常な生体の機能を説明できる。
- ②外界の変化に応じた生体の調節機構を説明できる。

学習の進め方

1. 第1部から第3部にかけて順に学習する。必要に応じて「学習の手引」を参照する。
2. 章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の最初にあるキーワードについて再学習する。
3. レポート課題を確認し、関係する箇所をテキスト・参考文献に基づき学習する。図書館を利用するとよい。
4. レポートの下書きを作成する。図を用いると理解しやすい。
5. 下書きしたレポートと、テキスト・参考文献との整合性等を確認する。
6. 指定の用紙により提出用レポートを作成し、提出する。
7. レポート合格の場合は科目修了試験に向けてテキストを基本として学習する。どうしても疑問が解けない時には、メールによる質問も試みる。レポート不合格の場合は、レポートに赤字で記載してある教員の指示に従い改めてテキストを学習し、レポートを作成し提出する。
8. 科目修了試験に向けて、全体的に学習する。
9. 科目修了試験不合格となった場合は改めて学習し、次回の科目修了試験に備える。科目修了試験終了直後に、理解しにくかった箇所を改めて学習し、自分の弱点を克服する。

内容

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 生理学の基礎知識 | 9. 循環系 |
| 2. ニューロン・シナプス | 10. 呼吸 |
| 3. 筋収縮、体性感覚 | 11. 消化 |
| 4. 視覚、聴覚・平衡感覚 | 12. 栄養と代謝、腎機能 |
| 5. 味覚、嗅覚 | 13. 腎機能と尿生成、体温調節 |
| 6. 運動 | 14. 内分泌 |
| 7. 自律神経系、脳 | 15. 睡眠、生殖 |
| 8. 血液、体液 | |

テキスト・参考書

①**テキスト** はじめの一步のイラスト生理学 改訂第2版 照井直人編 羊土社 2012、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②**参考書** ①やさしい環境生理学 鈴木郁子編集 錦房 2019
②人体の構造と機能 第6版 上田晃, 内田さえ, 鍵谷方子, 原田彰宏編著 医歯薬出版 2023
③標準生理学 第9版 本間研一 医学書院 2019

成績評価

①**レポート** 全体を100%として、課題の理解50%、「ねらい」「アドバイス」の活用20%、学生自身の学習成果15%、レポートとしての完成度(誤字・脱字も考慮する)15%として評価する。

②**科目修了試験** 第1問50点、第2問50点。合計点で評価するが、1問でも0点となった場合は不合格とすることがある。

その他

常に、自分自身の体を見つめて、外界の変化に応じた肉体・精神の変化をとらえると理解しやすい。

哲学（夏期スクーリング）

担当教員：佐々木 雄大

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目/2024年度

概要

現代社会の重要な価値基準に〈役に立つ〉があります。私たちはこの〈役に立つ〉によって、物事の価値を決め、また、私たち自身の行動もそれによって規制されています。では、この〈役に立つ〉とは一体どのようなことでしょうか。また、〈役に立つ〉を通して世界を見ることはどのような結果をもたらしているのでしょうか。これらの問題について考えることを通じて、哲学について学んでいきます。

授業の方法

【同時双方向型（manaba、Zoom利用）】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

1. 〈役に立つ〉について学ぶことを通じて、哲学における主要な考え方についての正確な知識を習得する。
2. 哲学の理論を自らの日常的な体験に適用して、自分自身の考えを他者に提示できるようになる。

授業計画

1. 「役に立つ」とはどのようなことか：ヘーゲル
2. 友情は役に立つか：アリストテレス①
3. なぜ道具は役に立つのか：ハイデガー①（第1日：Zoomのちmanaba）
4. 役に立つことは善いことか：功利主義
5. 人間は役に立つ存在か：カント①
6. 生き物は役に立つか：アリストテレス①/ハイデガー②（第2日：Zoomのちmanaba）
7. 自然は役に立つか：ストア主義
8. 経済は役に立つか：アダム・スミス（第3日：Zoomのちmanaba）
9. 美は役に立つか：カント②
10. 「役に立たない」とはどのようなことか：モンテーニュ（第4日：Zoomのちmanaba）
11. 贈り物は役に立たないか：レヴィ=ストロース/デリダ①
12. 死は役に立たないか：ハイデガー③/レヴィナス
13. 宗教は役に立たないか：ウェーバー/デリダ②（第5日：Zoomのちmanaba）
14. 現代社会と有用性：フランクフルト学派/ハイデガー④
15. 現代社会と無用性：バタイユ（第6日：Zoomのちmanaba）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

初回については以下の事前課題を提出してください。また、毎回manabaにて小テストの課題を指示します。1回の授業につき1時間程度。また、事前に下記の参考書を読んで、西洋哲学史の基本的な流れをおさえておくことが望ましいです（5時間程度）。

事前課題

manabaにて以下の問題について回答してください。提出期限は初回授業の1週間前まで。

問題:「自分が考える役に立つものと役に立たないものの具体例とその理由を以下の形式で書きなさい」

※できるだけ具体的なものが望ましい。

※説明は1行程度でごく簡潔に書くこと。

※例

・私が役に立つと思うものは～である。なぜなら～だからである。

・私が役に立たないと思うものは～である。なぜなら～だからである。

②使用教科書

なし。必要な資料は manaba にて適宜配布します。

③参考書

- ・西洋哲学史：古代から中世へ 熊野純彦 岩波新書 2006
- ・西洋哲学史：近代から現代へ 熊野純彦 岩波新書 2006

④持参(準備)するもの

特になし。

⑤成績評価

小テスト(毎回 manaba にて実施)と期末テスト(小論文)を総合的に評価します。

評価の比率は、期末テスト 60%、小テスト 40%とします。

⑥学生へのメッセージ

〈役に立つ〉という身近で具体的な問題から出発して、哲学することの楽しさを学びましょう。

歴史学 (テキスト)

担当教員： 吉村 雅美

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2024年度

概要

課題を選択し、レポートを作成する。日本史の各時代における特徴を捉え、時の支配者や民衆、女性などがどのような関わりを持ち、その立場を展開していったのかを考察する。テキストや参考文献に学びながら、歴史に対する多様な見方ができるようになることを目的とする。歴史学を学ぶことによって、自身が抱える課題および日本や世界に関する現代的な課題について考えてほしい。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ① 日本史における歴史事実を覚えるだけでなく、現代につながる歴史の流れや画期を理解する。
- ② 歴史についての考察力を持ち、特に現代社会との相違点や類似点についても考察しながら、自分なりの歴史観を持つ。

学習の進め方

まず、[内容]にしたがってテキストを熟読する。レポートはテキストとともに、参考文献も参考にしながら作成する。科目修了試験に向けて、[内容]の各テーマに注目しながら、テキスト全体を深く理解しておくこと。

内容

() 内の章はテキストの章を表す。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 旧石器時代・古墳時代の生活 (第1章・第2章) | 10. 近代における「国民」・農民 (第19章・第20章) |
| 2. 大和朝廷、古代の生活 (第3章・第4章) | 11. 戦争への道 (第21章・第22章・第23章) |
| 3. 古代の女性の地位、律令国家の対外政策 (第5章・第6章) | 12. 戦後日本と民主主義 (第24章・第25章) |
| 4. 中世の農民、都市 (第7章・第8章) | 13. 高度経済成長、沖縄返還 (第26章・第27章) |
| 5. 中世の天皇と武家、中世社会の政治秩序 (第9章・第10章) | 14. 経済大国化と国際化、現代社会の課題 (第28章・第29章) |
| 6. 中世の寺院、国際関係 (第11章・第12章) | 15. 自分で歴史を見直そう！ 再考しよう！ 身近にある歴史を見直したり (自分の家族や居住している地域の歴史)、博物館を訪れたりして、興味のある歴史をより深く理解してください。 |
| 7. 近世における将軍と大名、国際関係 (第13章・第14章) | |
| 8. 近世の大開発と都市・村の生活 (第15章・第16章) | |
| 9. 近世における民衆の文化、百姓一揆 (第17章・第18章) | |

テキスト・参考書

- ① テキスト 荒木敏夫・保坂智・加藤哲郎他『日本史のエッセンス』(有斐閣、1997年)、学習の手引

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

- ② 参考書 テキストの章末に紹介されている文献など。

成績評価

- ①レポート 課題の理解30%、学生自身の学修成果30%、レポートとしての完成度40%として評価する。
- ②科目修了試験 論述形式の問題全2問を出題し、総合的に評価する。基礎知識30%、考察力30%、記述力40%として評価する。

宗教とは何か (テキスト)

担当教員： 井関 大介

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目/2024年度

概要

私たちは普段、何気なく「宗教」という言葉を使っていますが、じつは「宗教」と「宗教」でないものの境目をはっきりと区切ることとはできません。この授業でも「〇〇教」と名前がついたものを順に学んでいくのではなく、むしろ、私たちが何を「宗教」あるいは「宗教的」と呼んできたのか、あらためて考え直します。そのような反省的な姿勢を身につけた上で、日常の具体的な局面において、多様な文化現象を「宗教」という切り口から眺めてみましょう。「宗教」を通して自己を知り、他者を知り、世界を知ることが、宗教学を学ぶことだと言えます。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ① 宗教学の基礎的な理論を理解し、客観的に論じる姿勢を身につける
- ② 他宗教の知識を収集するだけでなく、今この自らの生に位置づけて考える力をつける

学習の進め方

テキストの各章を精読していくことで、宗教をどのように論じていくことができるのか、様々な話題に触れつつ学んでいきます。課題1はテキストの序章・終章と第I部、課題2は第II部と第III部での学習内容に対応しています。各章末に参考文献リストがありますので、興味を抱いた話題についてはぜひ積極的に調べ、レポート作成に生かしてください。

内容

この講義で扱うテキストは、〇〇教というような個別教団の教義・歴史や、儀礼・神話・戒律といった学術用語について概説するというものではなく、誰にでも関わりのあることとして「宗教」なるものについて深く考えさせるように、身近な社会現象と絡めながら宗教学の知見が紹介されています。あくまでも「考えさせる」ことを重視したテキストですので、ただ特定の話題についてのまとまった知識を得たい時には不便な面もあります。そのため、基本的な学術用語や理論、個別の宗教教団についての知識については、参考書の④や、より初歩的な内容の③などを利用することで補ってください。テキストは宗教学的な考え方を身につける訓練をするためのガイドであり、参考書は特定の問題についてより深く考えるための道具や材料のようなものとして、うまく使い分けてください。

テキストの構成は次の通りです。まず序章・終章を読んで宗教学的な視点を理解した上で、第I～III部の具体的なトピックについて学んでいってください。

序章 宗教学への入り口

第I部 現代の生の現場から問う (第1～6章)

第II部 宗教の立場に即して考える (第7～11章)

第III部 宗教に距離をとって問う (第12～16章)

終章 宗教学の実践

レポートは読書感想文や私的なエッセイではありません。テキストを読む前の素の自分のままで、不用意な取り組み方をしないように気をつけましょう。課題では、テキストをよく読んで学習し、それまでとは違った考え方でできる自分へと成長した上で、あらためて身近な物事を自ら考察するということが求められています。テキストの著者の意見に従わねばならないというわけではありませんが、一人で自分勝手に考えるのではなく、テキストと対話をしながら批判的に考察を深めていってください。

試験では、テキストで論じられている様々なトピックから出題されます。わからないところやもっと知りたいところがあれば、参考書を用いて調べておいてください。科目修了試験に向けて、テキストで学んだことをよく咀嚼し、知識を覚えるだけでなく、自分自身のこととして主体的に考察できるようにしておきましょう。

テキスト・参考書

テキスト 宗教学キーワード 葛西賢太・島藺進・福嶋信吉・藤原聖子 有斐閣双書、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

参考書

- ① 教科書の中の宗教—この奇妙な実態 藤原聖子 岩波書店 2011
- ② はじめて学ぶ宗教 岡田典夫・小澤浩・櫻井義秀・島藺進・中村圭志 有斐閣 2011
- ③ プレストップ宗教学〈第3版〉 石井研士 弘文堂 2020
- ④ よくわかる宗教学 櫻井 義秀 ・平藤 喜久子 ミネルヴァ書房 2015

成績評価

① レポート

全体を100として、課題を正しく理解していること（20%）、テキスト等の内容を理解していること（30%）、適切な具体例に言及しながら自分自身の理解の進展が表現できていること（50%）を目安に、レポートの完成度も勘案して評価します。

② 科目修了試験

全体を100として、問題を正しく理解していること（20%）、テキスト等の内容を理解していること（30%）、適切な具体例に言及しながら自分自身の理解の進展が表現できていること（50%）を目安に評価します。

文学 (テキスト)

担当教員： 林 悠子・伊達 舞

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2024年度

概要

文学は、ことばによって「人間とは何か」を探求する営みです。この科目は、日本語によって書かれた文学作品を考察の対象とし、日本では文学を通じてどのように人間探求の営みがなされてきたのかを学ぶことを目的としています。

授業の方法

【印刷教材等】

テキストを指定、関連する項目を調べる。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ①日本文学のことばの変遷についての基本的な知識を習得する。
- ②上代～現代にいたる日本文学の展開についての基本的な知識を習得する。
- ③個々の文学作品について、その文学史的な意義や特徴を論ずることができる。

学習の進め方

テキストは、八十迄生きた国文学者が、日本文学研究への温かい視点をもって描いた文学史です。ジャンルや時代を超えた幅広い知識が記されています。その書かれた内容について、取り上げられている作品を実際に読みながら理解を深めていきます。その際、書かれている事項以外にも有名な作品は読みましょう。レポートは感想文ではありません。作品を精読しながら問題点を考察し、自分自身の言葉で論じることが求められます。

内容

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 文学とは何かー広い視野からとらえる | 9. 日本の文学(3) 中世文学 |
| 2. 日本文学のことば(1) 上代文学 | 10. 日本の文学(4) 近世文学 |
| 3. 日本文学のことば(2) 中古文学 | 11. 日本の文学(5) 近代・現代文学 |
| 4. 日本文学のことば(3) 中世文学 | 12. 日本の演劇(1) 中世演劇 |
| 5. 日本文学のことば(4) 近世文学 | 13. 日本の演劇(2) 近世演劇 |
| 6. 日本文学のことば(5) 近代・現代文学 | 14. 日本の演劇(3) 現代演劇 |
| 7. 日本の文学(1) 上代文学 | 15. 総括 |
| 8. 日本の文学(2) 中古文学 | |

テキスト・参考書

- ①テキスト 島津忠夫『老のくりごと』
- ②参考書 テキストの章毎に関連する分野の参考書があげられていますので、それを参照してください。

成績評価

- ①レポート 提出されたレポートは添削を経て返却されます。その添削が評価(課題の理解50%、論理性30%、アドバイスの活用20%)となります。
- ②科目修了試験 100点を満点とし、60点以上を合格とします。

その他

古典文学と関係の深い能・狂言・文楽・歌舞伎などの伝統芸能をできるだけ多く鑑賞するように心がけてください。

言語と情報 (テキスト)

担当教員： 田辺 和子・木村 麻衣子

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2024年度

概要

人間は、言葉によって多くのメッセージを他者に発信しています。そして、そのメッセージの受け手や言語が使用される場面、コミュニケーションの目的によって、その表現様式は、様々に変化します。この科目は、社会における言葉の機能と伝える情報との関連について学ぶことを目的としています。

授業の方法

【印刷教材等】

テキストを指定し、課題の趣旨に沿った文献調査や観察調査を行う。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ① 日本語に関する基本的な知識を修得する。
- ② 社会におけるさまざまな場面での言語の使用のされかたを観察し、その機能や役割を説明することができる。
- ③ 言語に関する観察や調査の結果および考察を、適切な文献を引用しながら論理的に記述することができる。

学習の進め方

このコースのテキストは、社会言語学についての入門書として企画され、社会言語学という学問に触れるのは初めてという人を対象に、前提の知識なしに読めることを目指して書かれています。本書は、対象や分野に偏りがないように、社会言語学という学問の全体が論理的にわかるように体系的な枠組みを提示することに主眼を置いています。本書を読み進めながら、自らの言語生活や言語行動を振り返り、実践的に社会言語学への理解を深めていきます。最終的には、自分で調査を行うことで、データを収集し分析する訓練を積み上げていきましょう。レポートは、感想文ではなく、データを客観的に考察した記録を記述します。

内容

- | | |
|---------------------------|-------------------------------------|
| 1. 社会言語学の枠組み 動向と展望 | 8. 集団語 |
| 2. 言語と社会の規定関係 (1) 言語相対性 | 9. 敬語と社会 (1) 敬語の誤用・受容・教養 |
| 3. 言語と社会の規定関係 (2) 社会言語類型論 | 10. 敬語と社会 (2) 敬語変化の傾向 |
| 4. 言語間の格差 (1) 社会的格差 | 11. 日本語の文字 変異・政策・景観 |
| 5. 言語間の格差 (2) 変種間格差 | 12. 談話の規則性 (1) ポライトネス |
| 6. 標準語と方言 | 13. 談話の規則性 (2) グライスによる協調の原則 |
| 7. 言葉の性差 | 14. 談話と言語のバリエーション (1) 談話の分析と規則性 |
| | 15. 談話と言語のバリエーション (2) 間テキスト性・間ジャンル性 |

テキスト・参考書

① テキスト

社会言語学の枠組み 井上史雄・田邊和子編 くろしお出版 2022

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

② 参考書

ことばと思考 今井むつみ 岩波書店 2010

会話分析入門 串田秀也、平本毅、林誠 勁草書房 2017

デジタルネイティブの時代 木村忠正 平凡社新書 2012

日本語の配慮表現の多様性 野田尚史他2名編 くろしお出版 2014

日本語ウォッチング 井上史雄 岩波書店 1998

〈性〉と日本語：ことばがつくる女と男 中村桃子 日本放送出版協会 2007

基礎からわかる論文の書き方 小熊英二 講談社 2022

テキスト各章末の「参考文献」や「推薦図書」も参考にしてください。

成績評価

① レポート

提出されたレポートは添削の上返却します。レポート（2課題）の採点結果を本科目の成績とします。採点にあたっての評価基準は以下の通りです。

- ・調査の内容 30%
- ・引用文献の適切さ 30%

- ・考察の妥当性 20%
- ・論理的整合性 20%

② 科目修了試験

100点を満点とし、60点以上を合格とします。

その他

自らの言語生活を見直してください。今まであまり注意を向けていなかった言語使用を正しく認識し、その構造や機能の理解に努めてください。また、さまざまなメディアにおける言語使用の特徴や、わたしたちの生活への影響についても考えてみましょう。

音楽の歴史（夏期スクーリング）

担当教員：野本 由紀夫

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目/2024年度

概要

本講義では、西洋音楽の歴史を「芸術」の成立と崩壊の観点から概説する。いわゆるクラシック音楽を扱うが、作曲家の人間性や、思想史、さらには世界史や文化史、社会史などの観点からも解説する。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

「芸術」とは何か、各自で日ごろから考えてみる態度を身につける。

授業計画

1. 「芸術」概念について
2. 古代ギリシアからルネサンスまで
3. 宗教改革と音楽
4. バロック時代（その概念/ヴィヴァルディを例に）
5. バッハ
6. バッハ復活の力学（1）19世紀の合唱運動
7. バッハ復活の力学（2）ピアノの普及・ドイツ民族主義
8. 古典派「職人から芸術家へ」
9. 「ベートーヴェンはどのようにして芸術家になったか」
（モーツァルトからベートーヴェンへの歴史的パラダイム・シフト）
10. ロマン派
11. ロマン派の二大潮流（1）絶対音楽派
12. ロマン派の二大潮流（2）標題音楽派
13. 世紀末芸術（1）表現主義
14. 世紀末芸術（2）印象主義/ストラヴィンスキー
15. 20世紀と「芸術」概念の崩壊

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

各時代の音楽作品を事前にCDやDVDで聴いておくこと（YouTubeなどの視聴リストを配布）。世界史の背景を調べておくこと。

② 使用教科書

決定版 はじめての音楽史 音楽之友社/その他、授業時にコピー資料を配付する。

③ 参考書

ポケット音楽辞典 音楽之友社

はじめてのオーケストラ・スコア 野本由紀夫 音楽之友社

その他、授業で参考資料を紹介する。

④ 持参するもの

世界史の教科書・用語集や年表等があると良い（なくてもかまわない）。

⑤成績評価

評価は、授業参加・授業中の発言・批評等を10%、manabaに提出する「授業振り返り」60%、最終レポート（manabaに提出）を30%とします。

⑥学生へのメッセージ

久しぶりの「対面型」での授業実施です。地方から宿泊を伴って履修される方々にはご負担も大きいかと存じますが、遠隔授業では難しかった直接ピアノを弾いてお聞かせできたり、音源・映像を教室で視聴できたりすることで、学修効果がまるで違ってくると思います。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。